

## パソコン購入ガイド

パソコンの売り場に行くと沢山の種類があり、値段に幅があります。一般に値段と性能は比例します。パソコンを何に使うかによって、必要な性能が違うので、自分に合ったパソコンを選択することで値段を抑えることができます。

自分の使い方を店のスタッフに相談すれば、適当なパソコンを選んでくれるでしょう。

パソコンの構成要素ごとに選択のポイントを説明します。

- CPU
  - ✓ プログラム（アプリやタスクに同じ）を処理する装置。人間の頭脳に相当し、高性能 CPU ほど処理が速い
- メモリ
  - ✓ プログラムを処理する場所。人間が作業する机に同じく、小さいと机の上が一杯になって作業効率が悪いように、メモリは大きいほど処理が速い。パソコンによってはメモリの増設が可能
  - ✓ Windows10 パソコンは 4GB 以上必要
- ストレージ
  - ✓ プログラムやデータを保管しておく場所。人間の作業の場合の書棚にあたる。ストレージからプログラムやデータをメモリに取り出し処理し、作り出したデータをストレージにしまう。パソコンで扱うデータ量に応じてサイズを選ぶ必要があるが、外付ストレージを接続して増量することが可能
  - ✓ Windows10 の場合、必要なプログラムだけで 200GB 程度の大きさになる。最低 500GB 程度は欲しい。
  - ✓ ストレージの種類として、HDD、SDD、オプタンメモリの 3 種類がある。SDD > オプタンメモリ > HDD の順に処理が速い。その差が大きいので、予算が許せば、SDD にしたい。
- ディスプレイ
  - ✓ 大きい画面ほど操作し易いが、大きい画面となるとデスクトップパソコンになり持ち歩けない。持ち歩く可能性のある場合はノートパソコンになる。持ち歩きの頻度が高い場合は画面の大きさを我慢して 1kg 前後の軽いパソコンが良い。
  - ✓ 画面の美しさは予算次第。
- 接続端子
  - ✓ USB 機器や SD カード等の接続端子の装備はパソコンによって様々。使用する端子の有無、数を確認する必要がある。
  - ✓ USB 端子経由で各種機器を接続できるので、USB 端子は 2 つ以上欲しい。
- CD/DVD/BD
  - ✓ これらのディスクを日常的に使用するならば、使用するディスクに合った装置が装備されているパソコンが良い。ただし、USB 経由で外付けディスク装置を接続できる。

パソコンの用途ごとの選択のポイントは次になります。

- 画像系
  - 通常のデジカメ写真は 1 枚数 MB、解像度の高い写真や RAW 画像などは数十 MB のファイルサイズになる。たくさんの写真を保存するには大きなストレージが必要。
  - 解像度の高い写真を加工するような場合、パソコンの処理量が大きく、速い CPU、8GB 以上の大きなメモリが望ましい。また、画像処理プロセッサの装備されているパソコンが望ましい。専門的に画像を扱う場合、ディスプレイの画質も確認が必要。
  - 動画は写真が連続しているようなものなので、はるかに大きいファイルサイズになる。
- ゲーム

- 画面が目まぐるしく変わるようなゲームはパソコンの処理量が大きく、高速の CPU、高性能の画像処理プロセッサ、大きなメモリが必要。
- その他
  - 書類の作成、インターネット検索等の場合、扱うデータ量は小さく、処理量も大きくないので、中程度以下のパソコンで問題ない。ただし、安物買いはパソコンの動作が遅くいらたしたり、場合によっては満足に動かったりする。